

## ＜小川恭子 第84回日本音楽コンクール優勝記念＞

～鶴クアルテット(N響メンバー)のブラームスSQ3番～

# 「ブラームス 弦楽曲の魅力」

- 
- プレトーク / ヴァイオリンソナタと弦楽四重奏曲について (10)
  - ブラームス / ヴァイオリンソナタ 第3番 二短調 Op. 108 (25)  
Vn. 小川 恭子(桐朋学園大学4年 2015年第84回音コン優勝)  
Pf. 山西 遼(桐朋学園大学4年)
  - ベートーヴェン / 弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 Op. 18-2 (25)  
  
———— 休憩 ———— (20)
  - ブラームス / 弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 Op. 67 (30)  
鶴クアルテット(N響メンバー 2015年結成 JBS初出演)  
1st. Vn. 青木 調(JBS会員) 2nd. Vn. 林 智之、Va. 中村 翔太郎 Vc. 宮坂 拓志
  - 終演インタビュー (10)  
  
講演と監修 西原 稔(JBS顧問 桐朋学園大学教授)
- 



小川恭子



山西遼



鶴クアルテット



西原稔

## 2016年6月26日(日) 2pm 開場 1:30pm

### 会場 ヤマハ銀座店(7丁目) 6F サロン 90席

### チケット 全自由 一般¥5500 学生¥3500(会員限定)

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、 アメリカブラームス協会  
共催 (株)ヤマハミュージックリテイリング銀座店 (お問合せ先/JBS)  
主催 日本ブラームス協会 (JBS) <http://japan-brahms-society.org>  
チケット JBS事務局 Tel/Fax 03-3990-0611 メール [jbs1973@jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973@jcom.home.ne.jp)  
東京文化会館チケットサービス Tel 03-5685-0650



## ●Vn 小川 恭子 (おがわ きょうこ)

2015 年第 84 回日本音楽コンクール第 1 位、岩谷賞(聴衆賞)、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞、Eナカミチ賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に贈られる増沢賞を受賞。第 59 回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国大会第 1 位。第 5 回シュポア国際コンクール第 2 位、ロータリー賞(ドイツ)。第 17 回日本モーツァルト音楽コンクール第 1 位、日本弦楽指導者協会賞。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール 2014 にて第 1 位グランプリを受賞し、ザルツブルク・ミラベル宮殿シュロスコンツェルトに出演。これまでに、ザルツブルク・モーツァルトテウム夏季国際アカデミー、笠間国際音楽アカデミー、ミュージックアカデミー in みやざき等国内外で研鑽を積み、優秀賞等を受賞する。桐朋学園大学学長より「2015 年度に多くの人の心を動かす演奏をした」として梅津賞を授与される。また、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ワイマール州立歌劇場管弦楽団等と共演している。2016 年 3 月、桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。4 月より同大学研究科に在籍。辰巳明子氏に師事。一般財団法人 ITOH よりストラディヴァリウス 1716 年製を貸与されている。

## ●P f 山西 遼 (やまにし りょう)

7 歳よりピアノを始める。2011 年第 65 回全日本学生音楽コンクール高校の部 全国大会第 2 位併せて横浜市民賞(聴衆賞)。2011 年第 15 回シヨパン国際コンクール in ASIA 高校生部門アジア大会銀賞。2012 年ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクールユース部門第 1 位。2014 年第 5 回野島稔・よこすかピアノコンクール本選入選。2014 年第 5 回桐朋ピアノ・コンペティション第 1 位。2015 年第 9 回 センリア国際音楽コンクール 弦・室内楽部門 室内楽の部第 2 位(1 位なし)。2014 年第 35 回霧島国際音楽祭にて練木繁夫氏のマスタークラスに参加し、霧島国際音楽祭賞を受賞。2015 年ボーデンゼー夏期国際アカデミー(ドイツ)に参加し、カルメン・ピアッツィーニ氏のマスタークラスに参加し、Special Prize(最優秀賞)を受賞。カワイ表参道パウゼ等でリサイタルを行う。これまでにピアノを、北川倫代氏、ソルフェージュを大田桜子氏に、室内楽を鈴木康浩、村上弦一郎の各氏に師事。現在、ピアノを高橋多佳子、下田幸二、野島稔の各氏に、室内楽を北本秀樹、藤井一興の両氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部 4 年。

## 鶴ケアルテット(2015 年結成)

## ●Vn 1st 青木 調 (あおき しらべ)

桐朋学園女子高等学校音楽科を経て、同大学リストディプロマコースと大学院大学を修了。1992 年日本音楽コンクール第 2 位、併せて黒柳賞受賞。95 年日本国際音楽コンクール第 2 位。「プロジェクト Q」、NHK-FM「FM リサイタル」に出演。桐朋学園オーケストラ、名古屋フィルハーモニー、新日本フィル、東京交響楽団などと共演。サイトウキネン・フェスティバル松本、宮崎国際室内音楽祭、倉敷音楽祭に参加。2008 年及び 10 年に日本学生音楽祭コンクール東京大会の審査員。2005 年 NHK 交響楽団に入団。堀正文、原田幸一郎、藤原浜雄の各氏に師事。

## ●Vn 2nd 林 智之 (はやし ともゆき)

東京藝術大学卒業後、同大学院修士課程修了。1992 年、94 年、2003 年にフィンランドのクフモ室内音楽祭に参加。93~95 年 4 月まで、安田謙一郎弦楽四重奏団の第 2 ヴァイオリン奏者。94 年 9 月国際交流基金の派遣によりインドネシアでのジャカルタ国際音楽祭に出演。97 年 NHK 交響楽団入団。2002 年文化庁在外研修派遣員としてウィーン・コンセルヴァトリウムに留学。T.クリスティアン氏に師事。「しずくいし夏の音楽祭」を主宰。Allber String Quartet、彩弦楽四重奏団のメンバー。海野義雄、澤和樹、G.ボッセ、岡山潔、林靖子の各氏に師事。

## ●Va 中村 翔太郎 (なかむら しょうたろう)

4 歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学付属音楽高校入学を機にヴィオラに転向。2005 年、大阪国際音楽コンクール弦楽器部門高校の部第 3 位。06 年、KOBÉ 国際学生コンクール A 部門優秀賞。同年、第 8 回関西弦楽コンクール優秀賞並びに審査員特別賞、第 8 回日本演奏家コンクール高校の部最高位入賞。10 年第 15 回コンセル・マロニエ 21 弦楽器部門第 1 位。リゾナーレ室内楽セミナーで Quelle Quartett として基金「緑の風」音楽賞を受賞。「JT が育てるアンサンブルシリーズ」「プロジェクト Q」「藝大室内楽定期」などの演奏会に出演。栃木県交響楽団、藝大フィルハーモニアと協奏曲を演奏。東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。ヴィオラを百武由紀、川崎和憲の各氏に師事。東京藝術大学卒業後、14 年 6 月より NHK 交響楽団団員。Resona Quartet のメンバー。

## ●Vc 宮坂 拓志 (みやさか ひろし)

5 歳よりチェロを始める。これまでにプロジェクト Q、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、小澤征爾&ロストロポーヴィチの各氏によるコンサートキャラバン、宮崎国際音楽祭、水戸室内管弦楽団等に出演。エルンスト・オッテンザマー、ラリー・コムズ、フォルクハルト・シュタイデの各氏と共演。桐朋学園高校音楽科を経て同大学を卒業。その後 N 響アカデミーを経て NHK 交響楽団チェロ奏者。2010 年アフィニス文化財団の奨学金を得てミュンヘン音楽大学へ留学。チェロを木越洋、堤剛、ウエン=シン・ヤンの各氏に師事。

## ●解説 西原 稔 (にしはら みのる) JBS 顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19 世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽の友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽の友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽の友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史の研究が「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下として 2013 年音楽之友社より出版され、2014 年第 26 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞をクラシックの研究・評論部門で受賞する。日本ブラームス協会(JBS)では顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その成果を年会誌『赤いほりねずみ』に発表している。

## ~ JBS 例会での演奏記録より ~

- ・Vn 小川恭子: 2011 年フレッシュコンサート(1)に初出演。2014 年例会(ヤマハ 6F サロ)では Pf.仲道郁代氏とブラームス P 四重奏曲 1 番を共演する。
- ・Pf 山西 遼: 2015 年フレッシュコンサート(5)に初出演。Vc 笹沼樹氏とのブラームスのチェロソナタ 2 番では正確で先鋭なタッチを披露する。
- ・Vn 青木 調: JBS 会員として多くの例会に出演し、中でも 2010 年グランドオープンした銀座ヤマハホールにおける「シューマン生誕 200 年記念例会」では Vn 加藤知子(桐朋学園大教授)、Va 金丸葉子(JBS 海外会員・ロイヤルコンセルトヘボウ管)、Vc 林峰男(JBS 音楽監督・ローザン音楽院元教授)、Pf 伊藤恵(東京芸術大教授)各氏との<シューマン・ブラームス P 五重奏>の演奏は高く評価されている。

企画・制作 JBS 日本ブラームス協会 (顧問/西原、会長/羽木、幹事/佐藤、重成、杉田、山田)